

(資料1)

平成 年 月 日

A国際特許事務所 御中

C社
担当D

外国特許出願指示書

下記の外国特許出願を依頼いたします。

なお、本件出願の手続を行うこととなる外国弁理士の選任を貴所に一任します。

整理番号：E001

発明の名称：

出願国：E国

出願人：C社

発明者：住所・氏名

住所・氏名

出願期限日：20××年 月 日

優先権主張：特願2001 000100 20××年 月 日

会員への注意：

1 本書は例文であるが、外国弁理士の選任について、上記「なお書き」等の一文を入れ、委任関係を明確にすること。

なお、上記「なお書き」に代えて、「なお、E国への出願手続をF特許事務所へ依頼してください。」又は「なお、E国への出願手続をG氏に依頼してください。」と明記するか、あるいは、別添1又は2の委任状を別途発行することでも差し支えない。

2 在外代理人からの請求書及び出願人(C社)への請求書との関係が明確となる記載(整理番号、出願国、出願人名(C社)など)を明記すること。